

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水辺の広場整備事業
事業主体 (連絡先)	水辺の広場委員会 (座光寺自治振興センター 電話 0265-22-1401)
事業区分	((5)環境保全、景観形成に関する事業)((6)産業振興、雇用拡大に関する事業)
事業タイプ	ハード
総事業費	1,540,086 円 (うち支援金 : 988,000 円)

事業内容

国土交通省による親水護岸整備で生み出された平地を活用し、地域住民が手作りで水辺の広場の整備を行った。遊歩道、花壇を整備したことで、新たな交流や自然体験の基盤ができた。また、マレットゴルフ場を27ホールから36ホールに増設することで、交流機能を拡張した。

資源を活用した環境学習として、水辺の広場周辺の小河川を含めたホタルの棲息に関する自然観察会や、水質調査を実施した。



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

ホタルの棲息に関する観察会や水質調査を実施したことで、環境意識の高揚が図られ、水質浄化や生物保護など環境改善に向けた取組がより活発化した。

自然体験や交流の場が整備されたことで、UI ターン促進を目的とした都市農村交流を積極的に展開できる。また、既に地域内にある個性的な資源と併せて、より多様で総合的な豊かさを提供できる。地域住民が水辺の広場を活かした交流事業に取り組むことにより、住民の誇りづくりが進展する。

【目標・ねらい】

- 川が持つ可能性の顕在化
- 地域住民の環境学習を促進
- 地域への UI ターンを促進する新たな交流を創出

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

水棲動物、植物などの自然観察会や水質調査を継続的に実施し、さらに環境意識の高揚を図り、水質浄化や生物保護など環境改善に向けた取組を活発化させる。

新たな交流を創出するため、水辺の広場を自然体験や交流の場の基盤として、地域住民が主体的に取り組んでいく。UI ターンの促進を目的として都市農村交流を積極的に展開する。また、地域内の農業、歴史など個性的な資源と併せて、より多様で総合的な豊かさを提供できる事業を実施する。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。